

令和2年産

大崎稲作情報 第5号

令和2年8月25日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

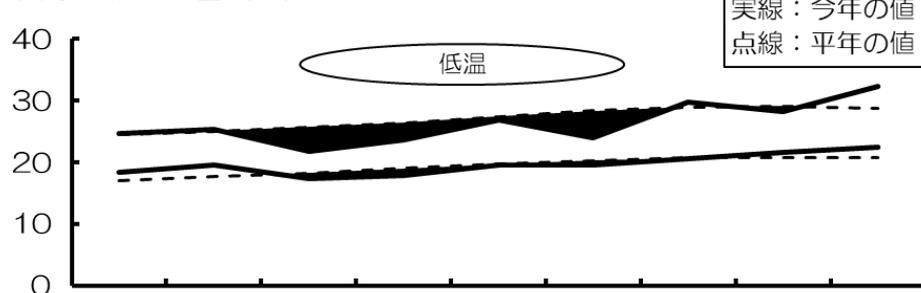
今後の管理のポイント

- ✓ 落水は出穂後30日頃を目安に行いましょう
- ✓ 適期刈取りに努めましょう
- ✓ 品質維持のため適正な乾燥・調製に努めましょう

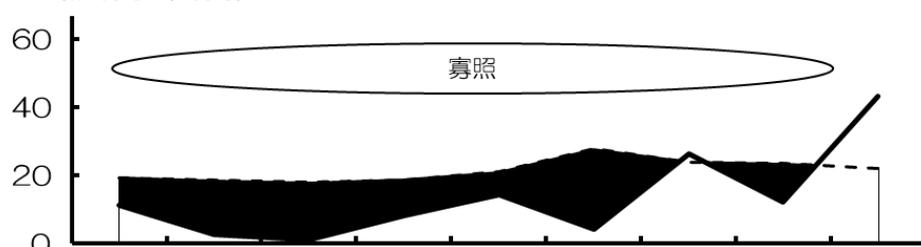
1. 気象経過

7月2～6半旬までは低温・寡照・多雨となりました。その後8月2半旬に降雨がありました。8月3半旬は高温・多照となりました。

最高・最低気温 (°C)



日照時間 (時間)



降水量 (mm)

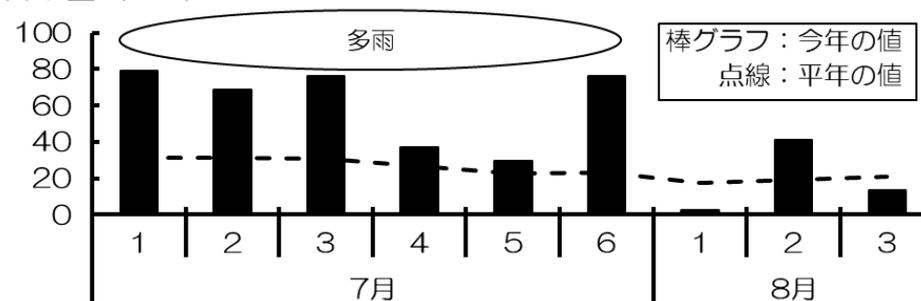


図1 7・8月の気象 (古川アメダス)

2. 出穂状況

出穂期は管内全体・県全体ともに平年より4日遅くなりました。管内全体の穂揃期は8月9日と平年より1日遅く、県全体は8月12日と平年より3日遅くなりました。

表1 管内の出穂状況

| | 出穂始期 | 出穂期 | 穂揃期 |
|------|--------------|--------------|---------------|
| 管内全体 | 8月2日 5日遅い | 8月5日 4日遅い | 8月9日 1日遅い |
| 県全体 | 8月2日 3日遅い | 8月6日 4日遅い | 8月12日 3日遅い |

※出穂始期、出穂期、穂揃期はそれぞれ作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日

3. 生育概況（出穂・穂揃期葉色）

各生育調査ほの出穂期は平年より遅くなりました。
穂揃期の葉色は平年より濃い地点が多くなりました。

表2 生育調査結果

| 品種名 | 地区名 | 田植・播種月日 | 出穂期 (平年差) | 穂揃期葉色(SPAD) (平年差) |
|-----------------|---------|---------|---------------|----------------------|
| ひとめぼれ | 大崎市三本木 | 5月4日 | 8月6日 6日遅い | 30.5 (-1.7) |
| ひとめぼれ | 加美町小野田 | 5月17日 | 8月8日 3日遅い | 37.1 (+8.0) |
| ササニシキ | 大崎市古川 | 5月11日 | 8月6日 5日遅い | 37.2 (+4.5) |
| つや姫 | 色麻町四竈 | 5月4日 | 8月13日 (-) | 33.0 (-) |
| だて正夢 | 大崎市三本木 | 5月3日 | 8月5日 (-) | 35.8 (-) |
| 金のいぶき | 大崎市三本木 | 5月7日 | 8月8日 (-) | 35.1 (-) |
| まなむすめ | 加美町宮崎 | 5月18日 | 8月5日 3日遅い | 35.5 (+2.2) |
| ゆきむすび | 大崎市鳴子温泉 | 5月24日 | 8月11日 (-) | 41.9 (-) |
| みやこがねもち | 大崎市岩出山 | 5月18日 | 8月13日 6日遅い | 33.7 (+2.2) |
| ひとめぼれ (湛水直播) | 加美町米泉 | 5月4日 | 8月17日 (-) | 30.4 (-) |

※平年比・差は前5か年（平成27年～令和元年）との比較

4. 今後の管理

1) 水管理 **適期落水で品質維持**

落水時期の適期は出穂後30日頃になります。

ただし湿田はやや早め、乾田はやや遅めに落水するなど、ほ場条件、天候、登熟状況などを考慮して落水時期を決めましょう。

早期落水は白未熟粒の発生を増加させ、玄米の品質を著しく低下させることから、適期落水に努めましょう。

2) 適期刈取 **適期を予測**

刈取適期を判断するためには、ほ場全体をよく観察し総合的に判断することが大切です。以下の刈取適期の目安を参考に適期刈取に努めましょう。

出穂期が分からない場合は、籾水分や籾・穂軸の色から判断しましょう。それぞれの目安は期間や条件が異なるので、組合わせて使うとより効果的となります。

表3 刈取適期の目安（出穂後の積算平均気温、出穂後の日数）

| 品種名 | 積算気温 | 出穂後日数 | 籾水分：25%～21% |
|---------|-------------|---------|-------------|
| ひとめぼれ | 940℃～1100℃ | 40日～45日 | |
| まなむすめ | 960℃～1050℃ | | |
| ササニシキ | 930℃～1170℃ | 45日～50日 | |
| みやこがねもち | 950℃～1150℃ | | |
| だて正夢 | 1020℃～1060℃ | 50日前後 | |
| 金のいぶき | 1050℃～1150℃ | 50日～55日 | |

籾・穂軸の色

籾：80～90%程度が成熟して黄変
穂軸：先端から3分の1程度が黄変

表4 出穂後の積算平均気温による刈取時期の目安（例：生育調査ほ）

| 品種名 | 地区名 | 出穂日 | 刈取り時期の目安 |
|-------|--------|------|---------------|
| ひとめぼれ | 大崎市三本木 | 8月6日 | 9月16日 ～ 9月24日 |
| ササニシキ | 大崎市古川 | 8月6日 | 9月15日 ～ 9月28日 |
| だて正夢 | 大崎市三本木 | 8月5日 | 9月19日 ～ 9月21日 |
| 金のいぶき | 大崎市三本木 | 8月8日 | 9月24日 ～ 9月29日 |

※気象データはアメダス古川を使用。8/19までは実測値、それ以降は平年値を使用。

～ 刈取り時の注意点 ～

- ✓ 適期の刈取りに努めましょう
早刈り：未熟粒の増加、籾の高水分による籾・玄米の損傷
刈遅れ：着色粒・胴割粒の増加、玄米の光沢がなくなる
- ✓ 品種の切り替え時は十分な清掃を行い、異品種の混入防止に努めましょう
- ✓ 収穫前は雑草（クサネム等）を抜き取り、雑草種子の混入防止に努めましょう

3) 乾燥作業 玄米水分 14.5%~15.0%に仕上げる

乾燥作業で重要なことは籾の水分ムラをなくし、適度な水分に仕上げることです。そのため、収穫後の速やかな乾燥、きめ細かい籾の水分管理、乾燥時の温度管理に注意して行いましょう。

✓ 収穫後、速やかな乾燥

収穫した籾の長時間放置は品質低下の原因になります。収穫後は速やかに乾燥機へ張り込み送風循環しましょう。

✓ 水分測定は最低3回

籾水分はバラつきが多く、1~2回の測定により籾水分の平均を求めることは困難です。水分測定の精度を高めるために最低3回は行いましょう。

✓ 過乾燥の防止

倒伏した稲や未熟粒の多い稲は高水分の籾の混入が多いため、過乾燥となりやすい傾向があります。過乾燥は胴割粒の発生・砕粒の増加・光沢の低下など品質低下を招きます。

高水分の籾を機械乾燥する場合は、二段乾燥※を行い、水分ムラや胴割粒の発生を抑えましょう。

※ 二段乾燥…籾水分が20%以下になるまで乾燥した後、乾燥を一時中断し、籾の水分ムラが少なくなってから再度仕上乾燥を行う。

4) 調製作業 適正な調製で整粒歩合80%を確保

調製作業の良し悪しにより検査等級が大きく左右されます。品質維持のため肌ずれの防止、整粒歩合の確保に努めましょう。

- ✓ 肌ずれ防止のため、籾摺りは籾の温度が低くなってから行いましょう
- ✓ 籾に見合った適正なロールの調整を行いましょう
- ✓ 整粒歩合80%以上確保するよう米選機の網目を選択しましょう

表5 水稻玄米の検査等級

| | 最低限度 | | 最高限度 | | | | | |
|----|-----------|-------|-----------|---------------------|-----------|------------|-------------|-----------|
| | 整粒 (%) | 形質 | 水分 (%) | 被害粒、死米、着色粒、異種穀粒及び異物 | | | | |
| | | | | 計 (%) | 死米 (%) | 着色粒 (%) | 異種穀粒 (%) | 異物 (%) |
| 1等 | 70 | 1等標準品 | 15.0 | 15 | 7 | 0.1 | 0.4 | 0.2 |
| 2等 | 60 | 2等標準品 | 15.0 | 20 | 10 | 0.3 | 0.8 | 0.4 |
| 3等 | 45 | 3等標準品 | 15.0 | 30 | 20 | 0.7 | 1.7 | 0.6 |

規格外—1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない玄米であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの

東北地方 1 か月予報

(8月22日から9月21日までの天候見通し)

令和2年8月20日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は高い確率70%です。

週別の気温は、1週目は高い確率80%です。2週目は高い確率70%です。3～4週目は平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

| | | 低い(少ない) | 平年並 | 高い(多い) |
|--------|--------|---------|-----|--------|
| 【気温】 | 東北地方 | 10 | 20 | 70 |
| 【降水量】 | 東北太平洋側 | 30 | 40 | 30 |
| 【日照時間】 | 東北太平洋側 | 30 | 40 | 30 |

<気温経過の各階級の確率(%)>

| | | 低い | 平年並 | 高い |
|-------|------|----|-----|----|
| 1週目 | 東北地方 | 10 | 10 | 80 |
| 2週目 | 東北地方 | 10 | 20 | 70 |
| 3～4週目 | 東北地方 | 20 | 40 | 40 |

◆◆◆◆◆◆◆ 農薬危害防止運動実施中(6月1日～8月31日) ◆◆◆◆◆◆◆

農薬を使用する前には、必ず使用可能な作物名等ラベルなどで確認し、使用時期、使用方法、使用量を守って適正に使用しましょう。

※ 最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターホームページで確認できます。

HP<<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>>